

Voice

～ 海から学ぶ教育効果 vol.4 ～

YMCA 阿南国際海洋センターをご利用いただく幼稚園・各種学校・各種教育団体のみなさまから、実際の活動を通して得られる効果や参加者の変化・成長など、「海から学ぶ教育効果」についての『Voice』をお聞きしました。



四国大学附属認定こども園
園長

沼田 久視子 先生

『学びの芽は、原体験から』

今年も入園式に我が子の手をつないで、お父さんお母さんになった卒園児がやってきました。「幼稚園、楽しかったなあ・・・」と思い出話の中には必ずYMCA阿南国際海洋センターでのキャンプの話が出ます。「まだ、キャンプしょん？」かわいい我が子にも自分と同じ体験をさせたいと願っているのでしょうか。感動的な原体験は何十年経っても忘れない思い出となって心の中に残っているのだと、昭和54年から38年間続けているYMCA阿南国際海洋センターでのキャンプは、園の特色の一つとなり意義あるものであったと再確認しています。

「みんなのパドルがバラバラだから進まんよ。合わせよう！」「風の力ってすごい」カヌーやヨットに乗って考えたことは小学校以降の学習で理論がわかったときに体験と結びつき効果的な学習となっていきます。また、青く広大な海、めらめら燃える火、やっと釣れたカニ、大好きな友達と一緒に眠ったこと・・・感動はすべて心の中にしっかりと刻み込まれます。そして一回り大きくたくましく成長した子どもたちは、クラス意識も強くなり2学期からの生活が一段と楽しくなってきます。

幼児教育は大きな変革の時を迎え、生涯の学びを支える「非認知能力」の重要性が取り上げられています。五感を通じた体験と仲間と協調して取り込む力の凝縮されたキャンプでの生活は、まさしく今求められている幼児期に育てたい力であると考え、今後も続けていきたいと思っています。

